

平成25年度「緑のカーテン」コンテスト結果

<目的>

枚方市では、地球温暖化防止や暑気対策の有効手段の一つとして手軽に取り組める「緑のカーテン」の設置を市民に呼びかけるとともに、その取り組みをホームページなどで紹介することで、市内における緑のカーテンの普及を促進することを目的に「緑のカーテン」コンテストを実施しました。

【緑のカーテンとは】

- ・夏の暑い時期に、日当たりの良い窓の前面などをゴーヤやアサガオなどのつる性植物でカーテンのように覆い、日差しを和らげるものです。

【緑のカーテンの効果】

- ・「緑のカーテン」が直射日光を遮るので、建物壁面や建物内部の温度上昇を抑えられます。また、葉からの蒸散によって周辺温度を下げる効果があるとされています。
- ・夏場の冷房使用はエネルギーを大量に消費します。また、室外機から排出される熱は、地球温暖化やヒートアイランド現象につながります。
- ・緑のカーテンに取り組むことで、建物内部の温度上昇が抑えられ、冷房の使用を減らすことが出来るため、地球温暖化対策やヒートアイランド対策、また省エネにも期待できます。

<対象>

- ・枚方市内で緑のカーテンを設置し、取り組みについて報告できる方（個人、企業、学校も可）
- ・つる性の植物であれば、どのような植物を利用しても可。

<参加者募集>

- ・募集期間：平成25年8月1日～9月27日
- ・広報ひらかた8月号及び市ホームページで参加者を募集しました。
- ・参加者からは、報告書を郵送、電子メール等で提出していただきました。
- ・報告書は緑のカーテンに取り組む上での工夫や効果、感想などの記入と、緑のカーテンの写真(全体の様子が見える写真を含む)を添付して提出していただきました。

<参加件数>

- ・平成25年度 参加件数32件

【最優秀賞】

西牧野小学校
グリーンキーパー

受賞理由：ゴーヤ、ヘチマ、きゅうり、瓢箪などを用いて全体として105㎡の大きくて葉が密生した立派なカーテンを作っている。グリーンキーパー7名で協力し、果実の育成よりも、広く高い大きなカーテンにすることに重点を置き、工夫して育てた。また、カーテンの規模が大きいことから、自動散水機だけではなく平日の夕方、日曜日の朝などは当番で水やりを行うなど積極的な取り組みが伺える。



【優秀賞】

おおさかパルコープ西くずは店

「緑のカーテンプロジェクト」チーム

受賞理由：ゴーヤを使って、店舗駐車場で36㎡のカーテンを作っている。組合員に水やりのボランティアを募集し、38名のもとスケジュールを組み、当番制で行っている。ゴーヤの成長などを記載したゴーヤ日記の発刊や、ゴーヤレシピを募集・料理交流会の開催・レシピ集の作成など、緑のカーテンが暑気対策だけではなく、コミュニケーションツールとなっている。



【優秀賞】

枚方信用金庫

受賞理由：ゴーヤを用いて2階食堂横のテラスで20㎡のカーテンを作っている。プランターを置く位置をうまく調節し、緑のカーテンに適度の隙間を生み出し、全体的に緑が綺麗なカーテンに仕上がっている。緑のカーテンの設置によって冷房を28℃設定で過ごすことができおり、また、「つる植物用の土」や緑のカーテン用の肥料を使用することにより、去年の3倍の実を収穫できた。



個人部門

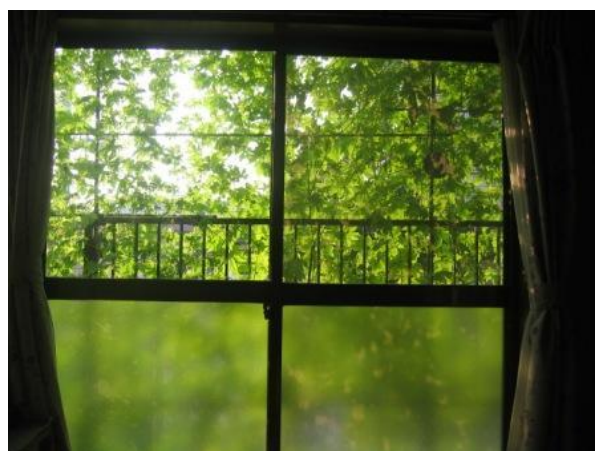
【最優秀賞】 北谷 静子 さん

受賞理由：ゴーヤ、アサガオ、きゅうり、とうがん、つるむらさきなど多くの植物をうまく組み合わせ、西側と南側の窓にかけて16.5㎡の緑のカーテンを作っている。出窓全面に緑のカーテンが行き届くことで日中でもほぼクーラーを使わずに過ごすことができた。収穫したゴーヤの実で佃煮や黒砂糖煮を作るなど、熱心な取り組みである。



【優秀賞】 大橋 憲一 さん

受賞理由：ゴーヤ、きゅうりを用いて、リビング窓側や洋室窓側にカーテンを設置している。また、種から育てており、うまく発芽させカーテンを作成している。どちらのカーテンも大きく、窓全体を覆っており暑気対策としてのカーテン効果は大きい。水やり、実の収穫など、生活の一部としてカーテンの育成を楽しんでいる。



【優秀賞】 奥村 由紀子 さん

受賞理由：ゴーヤ4株を用いてベランダを利用し5.2㎡のカーテンを作っている。大きくはないが、葉がよく茂ったカーテンで遮光効果は高い。また、「心のエコ」をテーマに日ごろからストレスをためないよう、癒しの効果を求めて取り組んでいる。花つき・実つきを良くするために肥料を工夫したり、夏バテ予防にビタミンたっぷりのゴーヤアイスを作ったり、とても熱心な取り組みとなっている。



参加者からの「緑のカーテン」による効果・感想（一部抜粋）

- 暑さ対策はもちろんですが、癒し効果を求めたのが、今年 緑のカーテンを作った第一の理由。日ごろからストレスをためない事が『心のエコ』に繋がります。育て上げ、収穫の楽しみも含めて、我が家の環境テーマは『心のエコ』です。
- 今回初めて緑のカーテンに取り組み、暑さ対策とゴーヤを食して夏バテ対策ができてよかったです。
- 手入れは必要ですが、子育て真っ最中のイライラしがちな毎日の中で、ベランダにグリーンが多いと気持ちが癒されます。種もたくさん取れそうなので、来年ももちろん取り組むつもりです。
- 緑のカーテンを始めて3年目になりますが、今年は気温が高いせいか生育が悪く、実なりが少なかったです。鮮やかな緑色が目に優しく、清涼感があるので若干涼しく感じました。
- 家族で緑のカーテンを楽しめて、子供たちにとっても環境の事を考える良いきっかけになったので来年も取り組んでいきたいと思います。
- 日常の中での森林浴と、育てた収穫の喜びを、もっと満喫したい。どんどんハマっていく楽しさがあります。
- 天候が気になるようになりました。正直なところ、緑のカーテンにより日射が遮られているとはあまり感じませんでした。しかし、視覚的には涼やかでした。また、ゴーヤの成長について家族での会話が交わされました。
- 緑のカーテン効果で今夏の猛暑にも関わらずエアコンの温度設定が省エネ温度 28℃で過ごせました。実ったゴーヤを使いゴーヤスパゲッティー、ゴーヤチャンプル、ゴーヤのかきあげ、ゴーヤの味噌いため等美味しくいただきました。